

Research on the Exterior Color of Apartment

초록

최근 한국은 대규모 아파트 중심의 신도시가 개발되고 있다. 아파트는 도심이나 녹지가 풍부한 지역 또는 강변에 세워지는 등 지역에 따라 다른 환경에 대규모 단지가 형성되므로 도시경관에 큰 영향을 미치고 있다. 그러나 한국의 건설회사는 아파트브랜드에 따라 동일한 패턴의 외장색채를 사용하므로 아파트 단지가 밀집된 지역은 획일적인 도시경관이 형성되는 문제점이 발생된다.

색의 기호는 국민성, 역사, 생활환경 등에 영향을 받으며 개인마다 주관적인 이미지를 가지고 있다. 색에 대한 인지는 다양한 분야에서 연구되고 있으나, 경관분야에 있어서 색채는 큰 면적으로 인해 본래의 색과 다르게 인지하는 경향이 있다.

본 연구는 아파트를 대상으로 한국인과 일본인의 외장색채에 대한 기호를 분석하였다.

1.はじめに

韓国は最近、経済発展によって新しく都市をつくる大規模開発が多くなっている。それによって農村は都市化され、マンション中心の町が形成される。マンションは、都会や緑地、川沿いなど地域によって様々な環境に位置し、都市景観に大きい影響を及ぼす。韓国は、建設会社によってマンションの形や素材・色などが決まっています、地域の特徴を考えずに建設会社のブランドイメージを強調している。そのため集合住宅が密集している地域の景観は特性がなくなり、画一的な都市景観になるという問題点が生じている。

色の好みは、個人の好みの違いだけでなく、歴史や国民性によっても違ってくるし、主観的なイメージを持っている。色の認知については、衣装や食文化など様々な分野で研究されている。景観分野では面積が大きいので、本色の認知とは違って認知する。

本研究では、韓国と日本の集合住宅の色彩とそのイメージを調査し、韓国人と日本人の外装色彩に対する色の好みを分析した。

2. 韓国の集合住宅の外装色彩計画の過程

韓国の集合住宅の外装色彩計画は環境デザイン専門業者が行っている。デザイン業者は建設会社の標準色彩マニュアルに合わせてカラーを決める。その理由を考えると、韓国は建設会社の知名度で分譲するのでマンションのブランドに建設会社の名前が付くようになっている。そして、建設会社のイメージに合う無難な外装色彩と地方自治体(以下、自治体)に要求されるスーパーグラフィックデザインを全国的に扱う。このようになるとマンションそのものが建設会社のイメージを広告する重要な役割を担い、色彩計画は建設会社を中心に計画されている。ただ、自治体によってスーパーグラフィックを地域別で決める場合もあるが、全般的な色彩には影響しない。このような過程で生ずる問題点は、各地域の特性と関係なく、建設会社の固有な集合住宅の外装色彩によって巨大な集合住宅が形成された場所は一律的な景観になってしまう。

韓国の集合住宅の色彩プロセスを調査すると、各